

## 阿智村教育委員会 令和元年6月定例会会議録

- 会議日時 令和元年6月21日(金) 午後1時30分
- 会議場所 阿智村保健センター 会議室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：塚田紀昭  
委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩 委員：熊谷恒雄  
【事務局】  
教育次長：熊谷修一（全体進行）  
保育園長：原 満 子育て支援室長：島岡佐喜子  
学校教育係：村田浩一 学校教育専門主事：羽生武彦、佐々木豊  
児童家庭相談主事：佐々木栄子  
(欠席者 公民館兼社会教育係長：川上悟 学校給食係長：石原哲成)

### 1 教育長あいさつ

- 小学校音楽会について  
各学校を廻ったが、いずれの学校も指導が行き届き立派な発表会であった。
- 園庭の芝生化事業について  
6月8日の智里西保育園園庭芝生化作業をもって、教育委員会が本年度予定していた3園芝生化事業は終了した。業務委託費は約230万円である。
- 放課後学習支援員の視察について  
支援員を配置している第一、第二、第三いずれの小学校も児童がしっかりと学習に取り組んでいる姿勢が見られた。基本的な学習習慣と学力が身につけており、継続することにより中学校に進学しても落ち着いた環境で学習ができると考えている。来年度の在り方については今後検討してまいりたい。
- 6月議会定例会について  
教育長の議会答弁は配布した資料による。白澤明議員の「阿智中学校の今後部活動方針について」は本日の協議題なのでそこで説明させていただく。  
高坂和男議員の「本年度のふるさと学習の内容について」は各小学校の状況について報告させていただいた。  
吉田哲也議員からは「個性ある学校教育について」「阿智村の学校教育の魅力、そのブラッシュアップ、移住をしたいと思える学校教育、信州やまほいく、学童保育の在り方について」質問があった。学童保育の在り方については、教育委員会として今後の方針を出した。放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体化した放課後子ども総合プランについて、現状の放課後学童クラブを拡充する中で、体験活動や学習指導などの放課後こども教室的要素を導入していく。そして結果的に総合プランに近づけていきたい。施設と支援員の確保ができれば来年度から

段階的に始めていくことが可能と考えている。

(原委員)

支援員は資格が必要なのか。

(子育て支援室長)

教員免許や保育士、幼稚園教諭などの資格を持つ者となっているが、放課後児童支援員という資格を取得する仕組みができた。

## 2 協議事項

### (1) 令和元年度主要事業の進捗状況について

- ・教育次長、各係長の説明

(塚田委員)

教育支援センターはどのような状況にあるか。

(子育て支援室長)

相談や体験の申し込みが家庭からきている段階。

(塚田委員)

相談というのはどのような業務内容か。

(児童家庭相談主事)

不登校の子どもたちが中心。居場所や学校との繋ぎの相談が主である。

(原委員)

特別支援教育支援員については連絡会や横の繋がりを持つことは非常に重要である。大切にしてほしい。

(熊谷恒雄委員)

保育園の無償化はどこまでか。

(保育園長)

保育園の運営に係るものについて3歳以上児が無償化になる。副食費は保護者負担をしてもらうことが国の指針。

(塚田委員)

副食代はもらうということか。

(保育園長)

国の指針ではもらうことになっているが、他市町村の動向を注視しながら判断していきたい。

(原委員)

トイレの設計事業者はどこか。

(教育次長)

白子建築設計事務所である。

- ・議事承認

### (2) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

- ・教育長の説明

(熊谷恒雄委員)

ブロック制の影響はどうか。

(羽生学校教育専門主事)

今年度から実施している。採用希望者は自分の採用地について希望を提出する。他は従来と同様。

(熊谷恒雄委員)

村と県教委との関わりはどうか。

(教育長)

新規採用者に関しては、村教委は直接関与しない。

(塚田委員)

教員の人事異動については不透明な部分があると思う。

(原委員)

全国的にみて校長会が人事をしているのは長野県だけではないか。

・議事承認

(3) 教育支援センター設置要綱（案）について

・児童家庭相談主事の説明

(熊谷恒雄委員)

センター長は誰になるか。

(教育長)

心の支援室長が直接の責任者となる。

・設置要綱承認

(4) 阿智中クラブの今後の在り方について

・教育長の説明

(原委員)

課題となるのは先ず怪我をした時の補償だが、チャレンジで対応できるのか。チャレンジの位置付けが課題。また、指導者の選出や謝金についてはどのようにするのか。施設についても改修が必要だ。

(教育長)

大きな事故等が起きた場合の対応として、チャレンジのNPO法人化について研究している。具体的な個別課題についてはこれから詰めていく。

(塚田委員)

チャレンジゆうにおける部活動の名称はどうか。

(教育長)

今のところ、従来の阿智中クラブの名称を継続していく予定。

(塚田委員)

保護者会、連絡会等で固めていかないといけない。

(熊谷歩委員)

中体連の大会は今後もある。選手の選考は誰がするのか。

(教育長)

まだまだ、多くの課題や不安があることは承知している。核心は中学校と

村教委、チャレンジの3者は、県の指針に従って部活動の延長としての阿智中クラブを廃止し、新体制に移行することを確認していることだ。個々の課題については腹を据えて対応していく。

(原委員)

人数が少ない部活動は他校と一緒にになって競技することができるのか。

(教育長)

飯伊中体連の理事が調整すると明記されており、それに基づく。

(熊谷恒雄委員)

教員の勤務時間は世界最長といわれる。阿智中クラブは廃止を前提としないといけない。教育委員会がやらなければいけない。学校としての方針がはっきりとしていないといけない。よい方針なのでぜひ進めていただきたい。

(5) 後援申請について

① 保育に関わる人のための安全対策講座（高松学園飯田女子短期大学）

② A-Stock Theater ピノッキオと白い悪魔

(NPO法人 アクターズゼミナール伊那塾)

・2件ともに承認

(6) その他

### 3 報告・連絡事項

(1) 各係からの報告

・海外研修事業アンケートについて（社会教育係）

本年度の海外研修事業は正式に中止とする。

・三遠南信教育サミット（7/19）について（総務係）

(2) 7月定例教育委員会の開催日について

7月25日（木）午後1時30分

(3) その他

(閉会 午後3時30分)

教育委員 署名・捺印